

レクリエーションで お年寄りの心元気に 名古屋で講習会

介護福祉に携わる人に、レクリエーションを通して高齢者らの支援方法を学んでもらう「福祉レクリエーション講習会」(中日新聞社、県レクリエーション協会など主催)が十三日、名古屋市中区の県体育館であり、施設などで働く職員ら十四人が参加した。

三重県レクリエーション協会の津幡佳代子事務局長が、施設で過ごす高齢者や障害者と楽しく交流するた

めの注意点などを解説した。津幡さんは「レクリエーションはお年寄りらの心を元気にすることが目的だ」と説明。遊びやゲームの中で相手の言葉や表情などを読み取り、寄り添うことで、高齢者らが自信を持ち、積極的にレクリエーションに参加することにつながる」と指摘した。

その後、参加者はさまざまな音楽に合わせて体を動かす遊びを体験し、声掛けの仕方などを学んだ。



レクリエーションを行う際の効果的なコミュニケーション法を説明する津幡さん
|| 名古屋市の県体育館で

5月22日(土) 19面

6月13日前9:40~後4:15
|| ドルフィンズアリーナ(県体育館、名古屋市中区二の丸一)
内容 三重県レクリエーション協会の津幡佳代子さんが「福祉レクリエーションとは」「アイスブレイキングの理解」など、実技を交えながら講演。レクリエーション活動のアレンジの仕方なども学びます
定員・参加料 先着70人。一般3000円、レク有資格者2500円
申し込み 6月5日までに

福祉レクリエーション講習会

アクセスまたはメールで、〒住所、氏名、電話番号、メールアドレス、レク有資格者はID番号を明記して、愛知県レクリエーション協会 || ファクス052(618)5408、メール office@rec-aichi.sakura.ne.jpへ
問い合わせ 同協会 || 052(618)5409
共催
県レクリエーション協会
中日新聞社会事業団
中日新聞社